

平成 2 2 年 ふれあい座談会

主 催	ふじみ野市
テ ー マ	大井総合支所の再整備について
日 時	平成 2 2 年 1 1 月 2 3 日(祝)・午後 3 時 ~ 4 時 3 0 分
場 所	大井総合支所第 2 庁舎第 1・2 会議室
参 加 者	7 名
市	市長、副市長、総合政策部長、秘書広報課長
<p>(市長あいさつ・市長説明 省略) 以下は主な質疑です。</p>	
<p>参加者:保険証を無くして支所に行ったら 3 日かかるとの事。本庁なら即日交付できるので何とかならないか。</p>	
<p>市 長:お金が少々かかっても、可能な範囲で実施していきたいと思っていますが、合併直後と同じことは出来ません。どうしても出来ないものがあれば、職員が出向く方法もあります。</p>	
<p>参加者:箱物がすべて反対と言うわけではないが、20 年 30 年先の長期的に見て効率よくやってほしい。夜 9 時まで住民票が取れるのは便利。児童センターを併設して欲しい。</p>	
<p>市 長:高齢化が進んでおり、子どもにツケを回さないことが大切です。ゴミ処理施設に 180 億円程度かかりますが、7 割を国が負担してくれる有利な借り入れができます。ただし、合併特例債を使うには平成 27 年度までに完成してなければなりません。子供たちの時代には建て替えができないので、急いで進めています。</p>	
<p>参加者:支所の充実にはテレビ電話などの IT 技術を活用してはどうか。曜日指定ではいけない人もいる。</p>	
<p>市 長:相談内容によっては、プライバシーの問題や相手を観察する必要があるもので、テレビ電話は難しいことが分かりました。12 月からはできることから始めました。今後、曜日などは解消できればと思います。</p>	
<p>参加者:支所周辺の道路は狭いが大丈夫なのか、渋滞がひどい。中央公民館はなくなるのか。</p>	
<p>市 長:ゼブラゾーンの設置や部分的な拡幅も可能と思います。中央公民館がなくなることはありません。この地域に文化施設をとっています。施設が二つあって無駄にならないよう、運営方法を変えるとか、コストを下</p>	

げるなど工夫が必要です。

参加者:市の職員が意識改革をしないと駄目。担当者が知恵を出して欲しい。

市長:民間だったら知恵を出すのは当たり前です。あいさつの徹底、朝の掃除など少しずつでも変えて行ければと思っています。市役所は最大のサービス業ですから。